

平成 23 年度 活動の記録
(平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)

自然災害から身を守ろう!



平成 23 年も自然が猛威をふるいました。3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による津波は、岩手県内だけでも死者・行方不明者約 6,000 人にもものぼる大災害を引き起こしました。

一方、巨大地震とは無関係に大雨が多発する傾向は続いています。9 月 22 日には、台風 15 号に伴う豪雨により二戸市浄法寺町でがけ崩れが発生し、高齢の方 1 名が犠牲になっています。

地震による地盤の緩みや沈下した箇所も多数あることから、土砂災害に対する警戒は更に強めていく必要があります。

特定非営利活動法人 防災ネットいわて

業務実施の方針

平成 23 年度は、次の方針で事業を実施しました。

- ・ 調査研究、提案、研修活動等を通して、組織活動の活発化を図る。
- ・ 地域の問題解決を図るため、他団体からの受託事業を円滑に実施し、積極的な事業展開を図る。

活動概要

本年度の活動は、委託事業、土砂災害写真パネル展などを実施しました。岩手県からの委託事業である土砂災害防止法基礎調査説明会補助業務は、平成 23 年度で 6 年目となり、写真パネル展と共に当 NPO 活動の大きな柱になっています。

今回の写真パネル展では、県内外の土砂災害の被害状況や防災関係機関の取り組み、東日本大震災による被災状況や津波の遡上状況の写真パネルを展示し、県民の方々に土砂災害や津波防災に対する理解と意識をもってもらう事を目的に取り組みました。

東日本大震災からの復旧・復興に忙しい中、本年度も岩手県県土整備部砂防災害課をはじめ、多くの方々にご協力いただきました。改めて感謝申し上げます。

実施した事業および主な活動

【岩手の土砂災害写真パネル展】

実施日時：平成 23 年 10 月 11 日～10 月 21 日 8:30～17:00

実施場所：岩手県庁 1 階 県民室

概要：毎年実施している写真パネル展を岩手県県土整備部砂防災害課と共催で行いました。今年は東日本大震災等の対応で、例年より遅い時期の開催となりました。昨年の豪雨による県内外の災害写真、今年の台風 15 号の被災状況のほか、東日本大震災の津波被害の写真も展示しました。





津波災害状況の写真パネル(大槌町、宮古市田老、洋野町ほか)

【土砂災害基礎調査説明会住民周知事業】

平成 18～23 年の 6 年間、岩手県から委託を受け、土砂災害防止法に基づく基礎調査結果・警戒区域指定に関する説明会の資料配布と、説明会受付、説明補助、議事録の作成および住民の意識調査を行っています。

これまでに大船渡市、陸前高田市、住田町、奥州市、遠野市、盛岡市、葛巻町、久慈市、野田村、普代村、洋野町、二戸市、一戸町で実施しています。



◆ 東日本大震災の爪痕

3 月 11 日の地震や津波により被災した家屋や施設などの状況。



地震と津波により被災した漁港施設と崩壊した道路背後の斜面。
崩壊斜面は延長約 70m、高さ約 25m。
[釜石市両石町桑の浜]

崩壊斜面は割れ目の発達した粘板岩からなる。流れ盤であることが、崩壊の主たる要因と考えられる。
[左記と同一箇所]



津波により被災した土砂災害警戒区域内の家屋。隣接していた家屋は被災後に撤去された。

[大船渡市赤崎町]



津波により家屋が流失し、基礎部分のみが残る。土砂災害警戒区域及び周辺の状態。

[陸前高田市気仙町]



津波で全壊した道の駅「高田松原 タピック 45」。被災遺構候補の一つ。

[陸前高田市高田町]



地盤沈下により満潮時は海水が陸側に浸入する。

[大船渡市赤崎町]

平成 23 年度 活動の記録

(平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)

平成 24 年 2 月 27 日 発行

編 著：特定非営利活動法人 防災ネットいわて
〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ 4-4-20
TEL:019-643-8890 FAX:019-643-8892
E-Mail: bni@eins.rnac.ne.jp
URL: <http://www.eins.rnac.ne.jp/~bni>